

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21 台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の70%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トンの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり42kgの水揚げで、前週の74%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり743kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり1kgの水揚げ（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、マイワシなどが1日1統当たり403kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり618kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり912kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり962kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/9～5/14の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、5日延39隻、総計2,769箱、1航海最高200箱、平均71箱。スルメイカ（20～40入）2,665箱、ケンサキイカ（2～3立）104箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>